

9月9日から第3回定例会が開かれ、人事案件2件に同意するとともに、専決処分5件、動産の取得1件、平成23年度各会計補正予算8件が提案され、すべて原案のとおり承認・可決されました。

同時に提案された平成22年度一般会計と12特別会計の決算認定は、議長を除く15名の委員で構成する「決算特別委員会」を設置し、審査する事になりました。

また台風12号による災害を検証し、議会という立場で復興の支援をすることを調査目的として議員全員で組織する「台風12号災害の検証と復興に関する調査特別委員会」を設置しました。

一般質問は、10議員が台風12号関連の質問などを町執行部に問いました。

11月1日には第2回臨時議会が開かれ、発議1件、条例の制定及び一部改正3件、平成23年度一般会計補正予算1件(下記参照)が提案され、全て原案のとおり可決されました。



平成23年度日高川町一般会計補正予算(第4号)

総額963,581千円(①の積立てと同時に③と⑥はそこから取り崩すため実質的には753,581千円となります。)

	説明(主なもの)	金額(千円)	補 足
①	復興支援基金積立金	223,000	台風12号災害の復興支援事業に充てられます。
②	農地流入土砂撤去工事	172,000	農地に流入した土砂やガレキを重機等により撤去する事業の補助に充てられます。
③	農業用機械等復旧補助金	150,000	①からの取り崩し、被災した農業用機械等の買換・修理に対する補助に充てられます。
④	ハウス施設復旧支援補助	108,000	農業用ハウスや付帯設備などの復旧の補助に充てられます。
⑤	農地農業用施設災害復旧工事	80,000	農地や用排水路、農道、頭首工などの施設復旧に充てられます。
⑥	中小企業支援補助金	60,000	①からの取り崩し、商工業の復旧経費の補助に充てられます。
⑦	揚水機復旧工事	56,000	農業用かんがい揚水機施設の復旧に充てられます。
⑧	特用林産物復旧支援補助	33,800	千両等特用林産物施設の復旧の補助に充てられます。
⑨	スプリンクラー復旧支援補助	20,000	スプリンクラー、モノラック施設の復旧の補助に充てられます。
⑩	畜産施設等復旧支援補助	11,334	畜産施設の復旧の補助に充てられます。

第3回定例会

伴い、松瀬簡易水道を早蘇地区に統合するものです。

●人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

西原由武さん（初湯川）の推薦に同意しました。

（賛成全員）

●固定資産評価員の選任同意

次の方の選任に同意しました。

井領研二さん（和佐）

（賛成13名）

●特別職の職員で非常勤のもの報酬等に関する条例の一部改正（専決処分）

スポーツ基本法が施行

され従来の「体育指導委員」を「スポーツ推進委員」に名称を改めるものです。

（賛成全員）

●簡易水道施設の設置に関する条例の一部改正（専決処分）

早蘇地区簡易水道事業の総合拡張工事の完成に

（賛成全員）

●簡易水道事業給水条例の一部改正（専決処分）

簡易水道の給水区域へ松瀬地区を加えるものです。

（賛成全員）

●暴力団排除条例の制定について（専決処分）

反社会的勢力の排除を目的として、和歌山県暴力団排除条例が本年7月1日から施行され、本町においても暴力団排除を積極的に推進するため、本条例を制定したものです。

（賛成全員）

問 相談など、担当部署は設けるのか。

答 総括は総務課と

なる。公共施設からの利用排除に関しては各所管の部署、事業に関しては各事業実施部署となる。



給水活動

●動産の取得について（専決処分）

断水等による給水活動に必要な水道給水車を購入するものです。

購入金額は865万825円です。

問 給水車の規格と配備先の説明を。

答 2t積みの給水

こととなりました。
（継続審査）

●平成23年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ7億6645万3千円を増額し、予算総額97億3456万1千円とするものです。

補正の主な内容は、台風12号と台風に伴う豪雨による災害に対する応急

あるいは仮復旧のための経費を計上したものです。

（賛成全員）

問 中津支所の自家発電機が洪水で浸かったが、同じ場所へ配置するか。

答 発電機が壊れて

動かない状態なので応急の仮復旧をする。

問 防災無線施設15基が水没して使用不可能になったものを修繕するが、全施設の一点検が必要ではないか。

答 この際、徹底的に見直したい。

問 被災者への見舞

金、弔慰金をどんな形で届けるのか。

答 県、町それと社会福祉協議会等の見舞金を合わせて、被災者へ町職員と社会福祉協議会で現金を配りたい。

内容は、町の災害見舞金、社会福祉協議会の見舞金、町の台風12号災害義援金それと県の災害義援金の4つの項目となる。

全壊、半壊、床上浸水、床下浸水が対象だが、それぞれ金額が違う。

問 田畑のガレキを撤去する方針はもっているのか。

答 ボランティアや業者の力を借りて処理しているが非常に困難なところもある。めどを付けられるようがんばりたい。

問 近隣市町へ仮住まい生活をしなければならぬ被災者への住民サービスや支援が大事なのでは。

答 住民サービス等に不公平が生じないよう

留意していく。

問 仮住まいを希望

している被災者は何世帯あつて、空いている町営住宅、提供してくれる住宅は何戸確保できるのか。

答 仮設住宅を希望する被災者は27世帯だった。

問 町営住宅の空きが川原

河で1戸、平で2戸、寒川で4戸、山野で1戸である。関電の社宅で5戸、民家が1戸、御坊市の雇用促進住宅7戸、由良町の雇用促進住宅8〜10戸が提供されることになった。

問 公営住宅の修繕

費が8900万円となっている。何戸被災したのか。

答 床上浸水が40戸、

床下浸水が3戸となっている。

問 住家が被災した

人への支援を考えているのか。

答 被災者生活再建支援制度では、全壊の場

合100万円、大規模半

壊の場合は50万円。住宅

の再建設をしたい場合はそれにプラスされる。建設・購入に対しては20

0万円、補修の場合は100万円、民間の賃貸の場合は50万円の助成制度がある。

問 個人事業者や農

家の復旧にかかる2重口インへの支援は考えているのか。

答 融資制度がある

ので農協、商工会と一緒に

なって取り組む。

●平成23年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ5億3574万3千円を増額し、予算総額102億7030万4千円とするものです。

問 補正の主な内容は、台

風6号、12号及び6月の豪雨による災害にかかる

災害復旧費、総合行政シ

ステムプログラム改修経

費、有害鳥獣捕獲報償費

の追加等を計上したものです。

(賛成全員)

問 台風12号災害へ

の対応で、多くの職員が勤務時間外に働いていた。

問 今回の補正予算に超過勤

務手当は組み込まれているのか。

答 9月いっぱい

の超過勤務手当については、応急の部分は賃金で計上し、通常業務の増えた分は超過勤務手当で計上した。

問 文書広報費でメ

ールサービスを構築しているが内容は。

答 県の情報協議会の助成事業を活用して、

広報システムを拡充していく。

既存のサーバーを活用して、災害時に職員が現場の被害状況を本部に伝達するシステムに活用したい。また、観光情報の

発信、催し物の連絡など

メール配信したい。

問 総合行政システ

ム改修は、住民基本台帳に外国人を登録していく

ものだが、本町には何人

在住しているのか。また、現在のシステムでは対応できないのか。

答 本町には40名の

外国人が登録している。今度、電算システムに

全て入ることになり、住

民登録をすれば、国民健康保険、国民年金など事務が合理化できる。外国人の利便性も増進するの

で、改正が行なわれた。

問 農業の災害復興

の見通しはどうか。

答 2千カ所近くの被害の土地、区画がある。全体の被害は10億円程度と

考えている。

問 町内外から沢山

の見舞金や義援金をいただいているが、収支を住民に報告する必要があるのでは。

答 寄せられた見舞

金、義援金と使い道は明らかにし、報告する。

●平成23年度国民健康保

険事業特別会計補正予算

(第2号)

歳入歳出それぞれ600万円を増額し、予算総額13億5857万6千円とするものです。

問 国民健康保険事業川上

診療所の災害復旧のための応急修理にかかる費用

を一般会計から本会計を

経て国民健康保険事業川上診療所特別会計に支出するものです。

(賛成全員)

●平成23年度国民健康保

険事業特別会計補正予算

(第3号)

歳入歳出それぞれ185万6千円を増額し、予算総額13億6043万2千円とするものです。

住民基本台帳システム

に外国人を登録することに伴うシステム改修費と前年度精算分を計上した

ものです。

(賛成全員)



被災した町営住宅

●平成23年度国民健康保険事業川上診療所特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ600万円を増額し、予算総額1億600万円とするものです。

台風12号により医療用機器が浸水し、その修繕料等を計上したものです。

(賛成全員)

●平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ792万7千円を増額し、予算総額を1億4582万2千円とするものです。

平成22年度分の精算のため、前年度繰越金等を639万9千円納付し、残りの152万8千円を介護給付費準備基金に積み立てるものです。

(賛成全員)

●平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億3080万円を増額し、



浸水した川上診療所

予算総額5億7112万6千円とするものです。

川辺簡易水道施設をはじめとして、町内簡易水道施設の冠水及び配水管の損傷に伴う応急、仮復旧に要する経費を計上したものです。

(賛成全員)

●平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ8710万円を増額し、予算総額3億7094万2千円とするものです。

和佐地区、三百瀬地区、田尻地区の農業集落排水

終末処理場の冠水に伴う応急修理に要する経費を計上したものです。

(賛成全員)

●動産の取得について

町消防本部に消防ポンプ車を配備するため、いすゞ自動車近畿株式会社和歌山事業本部と購入金額1470万円で契約するものです。

(賛成全員)

第2回臨時会

●台風12号復興支援基金条例の制定について

台風12号被害に対する住民生活及び経済活動を支援し、一刻も早い復興を達成するために設置するものです。

(賛成全員)

●条例の一部を改正する条例について

台風12号により、ご家族が亡くなられたり、または住家が床上浸水以上の被害を受けた方に対して、所得区分に応じて町

民税を減免するものです。

(賛成全員)

問 今回の災害における町民税の減免は、申請書の提出が必要となるのか。

答 申請書の提出が基本となる。広報・ZTV・地方紙等で周知徹底をする。

●消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

(賛成全員)

●平成23年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ9億6358万1千円を増額し、予算総額112億3388万5千円とするものです。

主な内容は、台風12号で被災したハウスの農業施設等の復旧支援事業補助金、農業用機械等

の復旧補助金、中小企業復興支援補助金および台風12号復興支援基金積立金など、復興に向けての予算を計上したものです。

(賛成全員)

問 土砂撤去事業について、撤去に限定されているのか。

答 水田等の作付を考えた場合、土砂撤去が最優先と考え、今議会に提案した。今後も県の事業をみながら、対象とならない部分の災害復旧を中心に、町の事業を進めていく。

問 地域には欠かすことのできない集会所やコミュニティ施設に対する支援は。

答 区長を通じて問い合わせをしている。また、とり次第、自治振興補助金、コミュニティ助成金での対応を考えている。

問 集会所が被災した区もある。復旧の補助率をアップして、特別な対

応をすべきでは。

答 集会所の復旧には負担金もいる。今後の災害対応も含めて、機能充実も盛り込んで補助がでないかと考えている。

問 屋外広告物調査委託料の説明を。また、今回の被災者の雇用に繋がらないか。

答 緊急雇用事業を活用し、景観法に基づき、電柱への不法貼り紙、環境に対して調和のとれていない看板類の調査をする費用である。委託したコンサル業者に町内雇用に指導する。

問 防災諸費で9月10日までの超過勤務手当が計上される一方、農地農業用施設災害復旧費で同様の職員手当等が計上されていることから、災害対応と超過勤務手当の考えを問う。

答 9月10日までは緊急応急対応に大半の時間を要したことから、相当する部分を防災諸費と

して計上している。

その後、各課における通常業務の中で、災害対応を含めた時間外勤務を超過勤務手当として執行している。

農地農業用施設災害復

旧費の中の職員手当は、10月から2月まで行う測量等災害復旧事務に係る6名体制分の手当計上であり、消耗品も併せて計上している。



被災した農業ハウス

問 災害に関する復旧支援策の周知方法に關して、早期に説明会を開くべきと考えるが。

答 区の取りまとめが大事であり、啓発のチラシを各戸へ事前配布し、区長に協力を依頼したい。配布を終えた段階で、各地区の説明会並びに要請に基づく説明会をまちらい課、農林業課合同で実施したい。

問 ハウスが流出し、元の場所へ建てられない場合、別の場所へ建ててもよいのか。

答 復旧までに相当時間がかかるなどの場合は、別の場所でも再開できる。ただ、規模、内容は以前と同等でお願いしたい。



決算特別委員会を設置



龍田委員長

計の平成22年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置しました。閉会中に審査し、第4回定例会で報告となります。

第3回定例会に提出された一般会計と12特別会

委員長 龍田安廣
副委員長 信濃大典

台風12号災害の検証と復興に関する調査特別委員会の設置



吉本委員長

ことを調査目的として、委員会条例第6条第1項および第2項の規定により、議員全員で組織する「台風12号災害の検証と復興に関する調査特別委員会」を設置しました。

委員長 吉本賢次
副委員長 堀 辰雄

台風12号によりもたらされた災害の検証、また被災された住民が、被災前の暮らしに一日も早く戻れるよう、議会という立場で復興の支援をする